



「友愛とみどりと根性の加治木小」

加治木の風

令和5年度学校だより No.2

始良市立加治木小学校

令和5年5月22日

加治木小学校ブログ



「相手意識」をもった言動を

校長 横濱 郁代

交通教室でのこと、1名の警察官の方がご指導に
来てくださいました。姿を確認した子供たちの間から、「たった一人?」「男なの?女なの?」そんな声が漏れ聞こえてきたので、「ご都合をつけてきてくださいましたよ!」と説明を添えると、「ありがとうございます。」という声が広がりました。

連日メディアからは、思いが伝わらないことや思いを伝えないことによる人間関係の溝や壁、誤解や不信感、それらに伴うトラブルや事件が流れ、心配を超えて恐ろしい状況もあります。

子ども間においても、相手の気持ちに立つ言動を取らない、自分の気持ちを言語化できない、自分の都合や考えを強く主張しすぎるなどにより、トラブルになることがあり、丁寧に対応しているところです。

特に、授業においては、お互いの考えや思いを伝え合う活動を通して、相互の意見を認めたり尊重したりしながら自分の意見をより良いものにしていくことができるように指導し、その過程で、相手や状況に思いを巡らし、譲ったり我慢したりするなど、自分の気持ちに折り合いをつけることの必要性や大切さにも気づくことができるよう指導しています。

「相手の気持ちや状況を考えた言動か」という観点から、子供たちに考えさせたり教えたりすることが、今後ますます必要です。

『加治木小学校は、花のきれいな学校です。』

『善いと思ったことは 思っているだけではなく
実行していきたいです。』



新任式・始業式での6年生の挨拶の言葉です。瞳を輝かせて伝える姿はとても頼もしく、心に響きました。6年生をリーダーとして、ボランティア活動も広がっています。春に蒔いた種と同じように、子供たちの心に蒔いた種も、順調に育っている手ごたえを感じます。



本年度のPTA総会は、4年ぶりの会場開催ということで、コロナ禍以前の状況をご存じない保護者の方もあられる中、総務部の方には準備から当日の運営まで大変なご尽力をいただき、おかげさまで当日多くの保護者の皆様にご出席いただくことができました。保護者の皆様に直接経営方針やそれに対する思いなど、お伝えすることができ感謝しています。「校長先生の話は長い。」私自身、子供の頃に思っていました。留意しながら皆様に思いをお伝えしてまいります。



随時ブログを更新し、学校生活の様子をお伝えしています。お時間のある時に見ていただくと嬉しいです。QRコードを本紙の右上に掲載してあります。